科目名	三重を知ろうⅠ Exploring Mie Prefecture Ⅰ	担当教員 （研究室番号）	川島 珠実（202）他 （実践基盤看護学担当教員、教養・基礎担当教員）	教員への連絡方法 （メールアドレス）	

履修年次	1年次 前期	科目区分	総合科目群	選択区分	必修	単位数 （時間）	1(30)	授業形態	実習	科目等履修生	否
										ｵｰﾌﾟﾝｸﾗｽ	否

科目目的	地域で暮らす人々やその人々を支える看護活動の現場を知ることで、人間・環境・健康・看護の理解を深め、看護学を学ぶ基盤を養う。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ（DP）	主要なDP	C　多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。（技能・表現）
	関連するDP	A　人間の生命・尊厳・権利を擁護する社会的基盤について理解し、倫理観に基づいて行動することができる。（姿勢・態度） D　様々な職種との連携において、看護専門職としての役割を理解し、多職種による 協働活動に参加できる。（技能・表現）
到達目標	1.地域で暮らす人々とその暮らしに関心を持ち、生活者の視点で概観できる。 2.三重県の保健医療の現状および課題を知る。 3.人々を支える看護活動の実際を説明できる。 4.チームで課題に取り組む中で、メンバーと協同しながら自己の役割を遂行できる。 5.地域や病院における看護の役割について自己の考えを論述できる。	

成績評価方法（基準）	実習評価表に基づき、実習の状況・実習記録などから総合的に評価する。
再試験の有無と基準等	「実習の出欠席および追実習に関する取扱要領」の第4条に記載されている理由による1/4以上を超える欠席の場合、追実習を認めることがある。再実習は行わない。
教科書	看護学原論Ⅰ・基礎看護技術Ⅰのテキスト、配付資料、視聴覚教材など
参考書等	必要に応じて紹介する。
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	さまざまな方々との出会いを大切にし、人々の生活や環境、看護について自分の考えを深めて下さい。これまでの経験や学内で学んだ知識や事前学習を土台にして、課題や疑問を地域や病院等で確認したり、実践したりして学習を深めましょう。 　実習中は、同じグループの学生間でチームとして協力し合い、相互に学びを深めてください。
備考	開講前にオリエンテーションを行う。

学　習　内　容

➢実習場所

1.地域：自分の居住地周辺地区および三重県内の一地区

2.病院：三重大学医学部附属病院

➢学生配置

・病院実習では、履修生を前半・後半の２つに分け、１グループ６～８名（計15～16G）を１病棟ずつに配置する。

➢実施内容

1.自分の居住地周辺地区の探索および三重県内の一地区におけるフィールドワーク

・居住地周辺の公共施設の場所や経路を探索することで、生活の視点で居住地域の現状を考察したり、他の地域と比較したりして考察を深める。

・三重県内で暮らす人々と交流することにより、地域（三重県）の特徴と人々の暮らしと環境や歴史・文化との関係を考察する。また、自分とは異なる年代の人々の理解を深める。

2.病院・病棟の見学、看護師のシャドウイング（２日間）

・病院のさまざまな設備や病棟の環境を見学することを通して、医療を支える多職種の理解や療養環境の実際を学ぶ。

・看護師と患者との関わりの見学を通して、看護活動の実際を知り、看護師の役割について考える。

3.三重県知事講話

・三重県の保健医療の現状や課題を知る。

4.　実習振り返り会

・上記1～3を通して学んだことをグループで振り返り、生活者としての人間を支える医療・看護について学んだことをまとめ、発表す

学　習　課　題

1.事前・事後学習：実習各回で指定された課題学習を行い、記録用紙にまとめる。
2.指定されたテーマで最終レポートを記述する。
＊詳細は「三重を知ろうⅠ要項」を参照のこと

実務経験を活かした教育の取組

病院実習では看護職として実務経験がある教員が実習グループを担当し、指導を行う。また、実習施設では実務指導者からも指導を受ける。